

平成23年人文学部人間情報学科
 教員研究業績一覧（2011. 1. 1—12. 31）
 Academic Achievements in 2011 :
 Department of Human Sciences, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

哲学・思想論講座

- 篠原成彦 ②1)「事物は色をもちうるか」(『哲学の探求』38号, 哲学若手研究者フォーラム, 27-41頁) [単著] 2)「クリプケンシュタインのパラドクス再訪」(『哲学論文集』47号, 九州大学哲学会, 121-136頁) [単著] ⑤「知覚の哲学の最近における展開をめぐって」(応用哲学会臨時大会, 京都大学, 9月25日) [共同]
- 早坂俊廣 ③1)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の七」(『白山中国学』第17号, pp. 65-79) [共著] 2)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の八」(『東洋古典学研究』第31集, pp. 113-149) [共著] 3)「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の九」(『東洋古典学研究』第32集, pp. 153-181) [共著] ⑥1)「海を渡った日中の宗教人・知識人」(日中関係を考える連続市民講座第14期第2回, 1月29日, 長野県日中友好協会日中友好センター教室) [単独] 2)「“国学在当代中国” 学術座談会」パネリストとして提言(5月20日, 杭州師範大学国学院) [単独] 3)「全祖望与場所的記憶」(浙江大学人文学部浙江歴史文化研究青年団体・浙江省文化芸術研究院主催学術講演会, 5月30日, 浙江大学人文学部学院咖啡館) [単独] 4)「泰州学派紀念館布展大綱研討会」パネリストとして提言(10月17日, 泰州市鼓楼路国泰大酒店) [単独] 5)「全祖望与鈔書的精神史」(復旦大学哲学学院主催学術講演会, 12月9日, 復旦大学光華西主楼)
- 三谷尚澄 ②1)「セラーズにおける意図の分析について」(『人文科学論集<人間情報学科編>』第45号, pp. 1-22) [単著] 2)「「感覚印象」をめぐるセラーズの理解は変化したのか」(『アルケー』No. 19, pp. 191-203) [単著] 3)「経験論の再生と二つの超越論哲学——セラーズとマクダウエルによるカントの直観の受容/変奏をめぐって」(『哲学論叢』第38号, pp. 45-60) [単著] ⑤1)「倫理的直観はいかなる意味で実在をとらえているのか——セラーズ的視点から」(関西倫理学会, 10月30日, 関西大学) [単独] 2)「直観と倫理」(関西倫理学会シンポジウム, 10月30日, 関西大学) [共同] ⑥1)「なぜ学ばなければいけないのか? ——ごまかさず, 問いを貫いてみるということ」(5月18日, 長野県松本県ヶ丘高校進路講演会, 県ヶ丘高校) 2) 科学研究費補助金(若手研究B)「若きセラーズの思想形成過程の解明」に基づく研究を研究代表者として実施
- 護山真也 ②1)「形象虚偽論と多様不二論(上)」(『人文科学論集<人間情報学科編>』第45号, pp. 23-41) [単著] 2)「ラトナキールティ著『多様不二照明論』和訳研究(上)」

(『南アジア古典学』第6号, pp.51-92) [単著] 3) "*pramāṇapariśuddhasakalatattvajña, sarvajña and sarvasarvaaiña*," H. Krasser et al. (ed.), *Religion and Logic in Buddhist Philosophical Analysis: Proceedings of the Fourth International Dhakīrti Conference Vienna, August 23-27, 2005*, pp. 329-339 [単著] 4) 「仏教認識論における解脱論と合理性」(『中部哲学会年報』第42号, pp. 1-15) [単著] 5) 「ラトナーカラチャーナンティのプラマーナ論」(『印度学仏教学研究』第60巻第1号, pp. (80)-(87)) ④1) 書評: 佐々木閑『「律」に学ぶ生き方の智慧』(浄土真宗本願寺教伝道研究センター: 仏教書レビュー: URL: http://crs.hongwanji.or.jp/kyogaku/review/shohyo/sh08_026.htm) [単著] 2) 書評: 守屋友江編訳・根本敬解説『ビルマ仏教徒 民主化蜂起の背景と弾圧の記録』(『仏教書レビュー』Booklet Volume 2, pp. 12-13) [単著] ⑤1) "Ratnākraśānti's theory of cognition with false mental images and the neither-one-nor-many argument" (The 16th International Association of Buddhist Studies (IABS) Conference, 22th June, Dharma Drum Buddhist College) [単独] 2) 「ラトナーカラチャーナンティのプラマーナ論」(日本印度学仏教学会第62回学術大会, 9月7日, 龍谷大学) [単独]

心理学・社会心理学講座

今井 章 ②1) 「事象関連電位によるリップスの大きさ錯視の検討」信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>, 45, 43-54頁 [単著] 2) 「単語認知における意味の活性化と固視時間の関係」認知科学, 18, 233-249頁 [共著] ⑤1) 「腕の動作が記憶に及ぼす影響」日本認知心理学会第9回大会発表論文集, 106-106頁 (5月29日, 学習院大学) [共同] 2) 「視線注意効果に及ぼす表情の影響—事象関連電位を手がかりとして—」日本認知心理学会第9回大会発表論文集, 117-117頁 (5月29日, 学習院大学) [共同] 3) "A magnetoencephalographic study on the components of event-related fields in apparent motion illusion", *Perception*, 40 (Supplement), 132-132. (The 34th European Conference on Visual Perception (ECVP2011), 8.30, Toulouse) [共同] 4) 「デルブーフ錯視による事象関連電位(3)—内円が縮小する事態における検討—」日本心理学会第75回大会発表論文集, 549-549頁 (9月16日, 日本大学) [単独] 5) 「瞳孔反応と認知的負荷の関連」日本心理学会第75回大会発表論文集, 742-742頁 (9月17日, 日本大学) [共同] 6) 「服色, 服種と装着者の有無が心理的および生理的反応に及ぼす影響」日本認知科学会第28回大会発表論文集 (CD-ROM) (9月25日, 東京大学) [共同] 7) 「呼吸情報が管楽器アンサンブルにおける演奏の同期に及ぼす影響」日本認知科学会第28回大会発表論文集 (CD-ROM) (9月25日, 東京大学) [共同] 8) 「脳磁図によるベータ運動の検討(2)—実際運動との比較—」日本基礎心理学会第30回大会プログラム, 109-109頁 (12月4日, 慶應義塾大学) [共同] ⑥1) 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成22年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—』」(1月20日, 長野県松本文化会館) [単独] 2) 運転者の心理「自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—」独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成23年度運行管理者等基礎講習 (6月30日, 長野県松本文化会館) [単独]

- 清水健司 ①「自己愛と対人恐怖」(第5章)(小塩真司・川崎直樹(編)『自己愛の心理学 概念・測定・パーソナリティ・対人関係』, 金子書房, 70-87) ②1)「ネガティブな反すうの増減要因に関する基礎的研究—森田療法における“とらわれ”の観点を通して—」(『心理臨床学研究』, 25, 353-358) [単著] 2)「対人恐怖心性—自己愛傾向2次元モデルにおける類型の安定性について」(『人文科学論集』〈人間情報学科編〉, 45, 73-80) [共著] 3)「マインドフルネス瞑想の心配への効果: 媒介変数の検討」(『認知療法研究』, 4, 46-56) [共著] 4)「不合理な信念がストレス反応に及ぼす影響」(『パーソナリティ研究』, 19, 267-269) [共著] ⑤1)「最近の若者の社会・他者との関わり方の脆弱と内閉」(日本応用心理学会第78回大会企画シンポジウム, 信州大学 2011年9月) [共同] 2)「自己愛研究の最前線(4)—自己愛的パーソナリティと日常行動—」(日本心理学会第75回大会 ワークショップ, 日本大学 2010年9月) [共同] 3)「社会不安・対人恐怖の理論モデルとその実像」(日本心理学会第75回大会 ワークショップ, 日本大学 2010年9月) [共同] 4)「対人恐怖と自己愛の相互関係モデルにおける攻撃性の検討」(日本心理学会第75回大会発表論文集, 31, 日本大学 2010年9月) [共同] 5)「青年期における対処的悲観主義の対人関係」(日本心理学会第75回大会発表論文集, 47, 日本大学 2010年9月) [共同] 6)「社会不安における不安維持要因の検討」(日本心理学会第75回大会発表論文集, 48, 日本大学 2010年9月) [共同] 7)「幼児の実行機能, 社会的スキル及び問題行動の関連—短期縦断的検討—」(日本心理学会第75回大会発表論文集, 1091, 日本大学 2010年9月) [共同] 8)「2種類の自己愛モデル統合の試み—3つのモデルの相互関係—」(日本社会心理学会第52回大会発表論文集, 207, 名古屋大学 2010年9月) [共同] ⑥「こころと身体の関係」(大学合同出前講座, 9月30日, 飯山北高等学校) [単独]
- 高瀬弘樹 ②1)「ストレスおよびリラックス状態の呼吸運動」(人文科学論集〈人間情報学科編〉, 45, 81-94。) [単著] 2)「Measurement of attention and emotion levels for human adaptive mechatronics by near infrared spectroscopy」(Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers, Part I: Journal of Systems and Control Engineering, 225, 735-743.) [共同] ⑤1)「A study into addressing the "depressive state" by the "Sotai-ho" method」(The 4th International Conference on Traditional Chinese Medicine (TCM) Psychology, pp. 312-315. Beijing, China, May 6th-8th) [共同] 2)「腕の動作が記憶に及ぼす影響」(日本認知心理学会第9回大会, 5月29日, 学習院大学) [共同] 3)「視線注意効果に及ぼす表情の影響—事象関連電位による検討—」(日本認知心理学会第9回大会, 5月29日, 学習院大学) [共同] 4)「A magnetoencephalographic study on the components of event-related fields in apparent motion illusion」(ECVP2011 in Toulouse, France, August 30th) [共同] 5)「瞳孔反応と認知的負荷の関連」(日本認知心理学会第75回大会, 9月17日, 日本大学) [共同] 6)「呼吸情報管楽器アンサンブルにおける演奏の同期に及ぼす影響」(日本認知科学会第28回大会, 9月25日, 東京大学) [共同] 7)「服色, 服種と装着者の有無が心理的および生理的反応に及ぼす影響」(日本認知科学会第28回大会, 9月25日, 東京大学) [共同] 8)「脳磁図によるベータ運動の検討(2)—実際運動との比較—」(日本基礎心理学会第30回大会, 12月4日, 慶應義塾大学)

[共同]

長谷川孝治 ⑤1) 安心さがしと社会的動機づけが他者からの拒絶に及ぼす影響 (日本グループ・ダイナミックス学会第58回大会, 8月24日, 昭和女子大学; 発表論文集, 58-59) [共同] 2) 安心さがしと社会的動機づけが抑うつ傾向に及ぼす影響 (日本心理学会第75回大会, 9月15日, 日本大学; 発表論文集, 118) [単独] 3) 安心さがしと社会的動機づけが心理的適応に及ぼす影響 (日本社会心理学会第52回大会, 9月19日, 名古屋大学; 発表論文集, 82) [単独] ⑥1) 「ポジティブ心理学—よりよい生き方に関する科学—」(安曇野セミナー, 11月29日, 安曇野市穂高会館) [単独] 2) 日本応用心理学会第78回大会 (9月10~11日, 信州大学人文学部) 大会委員会 事務局長 3) 日本社会心理学会「社会心理学研究」編集委員 2011年4月~2015年3月

社会・情報学講座

澤木幹栄 ④1) 「リレー連載第26回 私が勧めるこの一冊『日本の方言』」(『月刊日本語学』30巻7号, 明治書院, 60-64頁) [単著] 2) 「新 日本語学者列伝<グロータース>」(『月刊日本語学』30巻13号, 明治書院, 74-84頁) [単著] ⑤「言語解析ソフトを利用した大量方言テキストデータの処理法」(国立国語研究所「大規模方言データの多角的分析」研究会, 2011年12月10日, 国立国語研究所) [単独] ⑥「JPOPの日本語」(松筑教育文化会議 教科別分科会(国語・司書の部)における講演, 2011年10月1日, 梓川高等学校) [単独]

村山研一 ②1) 「地域価値の創造を進めてゆくための視点と組織について」『地域ブランド研究』第6号, pp.1-13 [単著] 2) 「梓川の水資源開発と発電用水利権——大正期の上高地ダム建設問題——」『信州大学人文学部・人文科学論集/人間情報学科編』第45号, pp.109-133 [単著] 3) 「梓川上流の発電用水利権と上高地の開発」『上高地・槍・穂高地域における自然環境の変動と保全・適正利用に関する総合研究(平成22年度文部科学省特別教育研究経費(連携融合事業)報告書)], pp.95-100 [単著] ⑤1) 「梓川上流の発電用水利権と上高地の開発」(2010年度山岳科学総合研究所研究報告会, 2011.2.26, 信州大学理学部) [報告者] 2) パネルディスカッション「佐久地域のブランド戦略—地域資源と情報発信—」(佐久市における地域ブランドフォーラム, 2011.3.6, 信州短期大学講堂) [コーディネーター] 3) シンポジウム「地域連携の拠点としての直売所」(地域ブランド研究会研究大会, 2011.3.20, 信州大学人文学部・経済学部共通棟第1講義室) [コーディネーター] 4) パネルディスカッション「栄村の復興に向けて」(長野県北部地震・栄村現地報告会, 2011.4.29, 信州大学工学部キャンパス・信州科学技術総合復興センター会議室) [パネリスト] 5) パネルディスカッション「産学官連携 NextStage・大学連携による地域経営の可能性と課題」(SGK フォーラムⅡ・地域マネジメントへの大学活用と新しい価値の創造, 2011.10.29, ホテル・ブエナビスタ) [コーディネーター] 6) パネルディスカッション「千曲市の食と農について」(千曲市食と農のシンポジウム, 2011.11.23, 上山田文化会館) [コーディネーター] ⑥1) 『中山間地域と村づくり 第1分冊:大鹿村』(信州大学人文学部社会学研究室, 59p.) [辻竜平との共編著] 2) 『中山間地域と村づくり 第2分冊:中川村』(信州大学人文学部社会学研究室, 73p.)

- [辻竜平との共編著] 3)「研究情報 [地域社会学]」『Center Letter 2011-10(信州大学地域共同センター)』p.5 [インタビュー]
- 菊池 聡 ①『批判的思考力を育む 学士力と社会人基礎力の基盤形成』有斐閣, p.154-161. [共著] ②「なぜ「問題商法」に騙されてしまうのか」日本家庭科教育学会北陸地区会報, 27号, p.10[単著] ④1)『40歳の教科書 NEXT』講談社, p.103-120. [共著] 2)「私たちはなぜ小説(フィクション)を読むのか: 解説」Journal of The Japan Skeptics, Vol.20. p.15-16. [単著] ⑤1)「非常時の思い違いと批判的思考」(日本科学教育学会第35回年会シンポジウム, 8月24日, 東京工業大学) [単独] 2)「超常信奉は「非合理的思考」と言えるのか」(日本応用心理学会第78回大会シンポジウム, 9月10日, 信州大学) [単独] 3)「超常信奉とコントロール幻想」(日本心理学会第75回大会, 9月15日, 日本大学) [共同] ⑥1)「だまされる心の心理学」(平成23年度長野県消費者月間講師, 5月23日-31日) 2)「ポジティブに生きるための心理学」(上伊那郡飯島町社会福祉協議会講師: 信州大学出前講座, 6月12日) 3)「だまされる心の心理学」(安曇野市社会福祉協議会講師: 信州大学出前講座, 6月15日) 4)「だまされる心の心理学」(長野県母子寡婦福祉連合平成23年度母子生活自立支援講習会講師: 信州大学出前講座, 7月10日) 5)「わかりやすい表現を実現する」(富士重工産業機器カンパニー富士埼玉協力会講師, 9月14日) 6)「前向きに生きるための考え方」(梓川公民館上野町会講演会講師: 信州大学出前講座, 9月25日) 7)「だまされる心の心理学」(長野市古里自治会協議会講師: 信州大学出前講座, 10月15日) 8)「ポジティブに生きるための心理学」(長野県企画部情報統計課労働調査員合同指導会講師: 信州大学出前講座, 10月18日) 9)「ポジティブに生きるための心理学」(飯山市役所心の健康講演会講師: 信州大学出前講座, 10月21日) 10)「ポジティブに生きるための心理学」(長野県家庭科教育研究会講師, 11月12日) 11)「ポジティブに生きるための心理学」(長野県母子寡婦福祉連合会第13回母子ひとり親セミナー講師, 11月13日)
- 祐成保志 ①『居住福祉学』(有斐閣, 348頁) [共著] ③ロバート・K・マートン「ハウジングの社会心理学」信州大学人文学部『人文科学論集 人間情報学科編』45号, 135-164頁 (Robert K. Merton, 1948, The Social Psychology of Housing, in Wayne Dennis ed., *Current Trends in Social Psychology*. Pittsburgh: University of Pittsburgh Press, pp. 163-217の全訳) ⑤1)「考現学と〈ポスト社会〉的転回」(5月15日, 第38回日本生活学会大会ワークショップ「『考現学の教科書』を考える」, 早稲田大学) 2)「ハウジングの社会学と家族史の接点」(11月5日, 比較家族史学会第7回秋季研究大会・自由報告, 桃山学院大学) ⑥1)『松本市の多文化共生に関するアンケート調査報告書』(信州大学人文学部文化情報論研究室, 96頁) [編著] 2)「『外国籍住民に係る実態調査』結果報告」(4月24日, 中信多文化共生ネットワーク総会, 松本市中央公民館Mウイング) 3)「松本市の多文化共生に関する事業所アンケート調査」(12月22日, 松本市人権男女共生課「外国人雇用企業との懇談会」, 松本市中央公民館Mウイング)
- 辻 竜平 ①1)『中越地震被災地研究からの提言: 未来の被災地のために』, ハーベスト社。 [単著] 2)「社会ネットワーク」, 唐沢穰, 村本由紀子(編著), 『展望 現代の社会心理学 3 社会と個人のダイナミクス』, 誠信書房, 82-100. [共著] 3)「社会的ネットワー

ク], 「スモールワールド」, 松原望・美添泰人・岩崎学・金明哲・竹村和久・林文・山岡和枝(編), 『統計応用の百科事典』, 丸善。[共著] ④1) 「山田一成(著), 『聞き方の技術: リサーチのための調査票作成ガイド』『社会心理学研究』26(3), 231。[単著] 2) 「池田謙一(編), 『クチコミとネットワークの社会心理』『理論と方法』26(1), 227-229。[単著] ⑤1) 「山村集落のネットワーク構造: 並べ替え検定を用いた検討」(3月8日, 数理社会学会第51回大会, 沖縄国際大学)[共同] 2) 「長野県下伊那郡下條村の特異性: 長野県内10市町村調査結果から」(9月17日, 日本社会学会第84回大会, 関西大学)[単独] 3) 「中越地震被災地の復旧・復興研究からの提言」(9月19日, 日本社会心理学学会広報委員会・大会運営委員会企画シンポジウム「東日本大震災を乗り越えるために: 社会心理学からの提言」, 名古屋大学)[単独] 4) 「新潟県中越地震からの復旧・復興とコミュニティ」(12月11日, 日本環境社会学会シンポジウム「東日本大震災被災地に求められるもの: 環境社会学はどのように貢献すべきか」, 関西学院大学)[単独] ⑥1) 数理社会学会庶務理事(事務局), 2009年4月~2011年3月 2) 社会心理学学会編集委員, 2009年4月~2011年3月 3) 社会調査協会編集委員, 2010年5月~ 4) 『中山間地域の村作り 第一分冊: 大鹿村』(信州大学人文学部社会学研究室)[共編著] 5) 『中山間地域の村作り 第二分冊: 中川村』(信州大学人文学部社会学研究室)[共編著] 6) 「新潟県中越地震からの復旧・復興に見る人間関係の問題と予防策」(松本市広域連合研修会: 信州大学出前講座, 2月23日)[単独] 7) 「新潟県中越地震研究から見た東日本大震災: 従来のは知見は活かせるのか?」(人文学部後援会, 7月16日)[単独] 8) 「新潟県中越地震からの復旧・復興にみる 人間関係の問題と予防策」(第1回小布施カルチャー大学: 信州大学出前講座, 7月21日)[単独] 9) 「中越地震による人間関係の変化から考える社会ネットワークのあり方」(信州大学人文学部委託調査研究報告会および震災に関する講演会, 10月13日)[単独] 10) 「新潟県中越地震から学ぶ~復旧・復興にみる人間関係の問題と対策~」(長野市 TOiGO セミナー, 10月19日)[単独] 11) 「新潟県中越地震の復旧・復興に見る人間関係の問題と対策」(信州大学人文学部公開講座 第61回夕べのセミナー, 12月7日)[単独]

水原俊博 ②1) 「記号消費志向的価値と公的生活」, 平成23年9月, 『経済社会学会年報』第33号, pp. 45-56 [単著] 2) 「消費主義者は選挙に行ったか? ——市民=消費者と政治的シティズンシップ」, 平成23年10月, 『年報社会学論集』第24号, pp. 204-214。[共著] ⑤「多様化する消費主義と政治意識——「多様化する消費生活に関する調査」を通して」単独, 平成23年9月17日, 日本社会学会大会, 於: 関西大学。

歴史学講座

久保 亨 ①1) 『シリーズ中国近現代史④ 社会主義への挑戦』[単著] 岩波新書, 2011年1月, 209頁 2) 『中華民国の憲政と独裁 1912-1949』[久保亨・嵯峨隆共編著] 慶應義塾大学出版会, 2011年9月, 300頁 3) 『近代中国を生きた日系企業』[富澤芳亜・久保亨・萩原充共編著] 大阪大学出版会, 2011年12月, 289頁 ②1) 「近現代中国の財政史」[単著] 『近きに在りて』第59号, 2011年5月, 84-90頁 2) 「戦後歴史学と野澤豊の民国史研究」[単著] 『近きに在りて』第60号, 2011年11月, 106-121頁 3) 「東アジアの総動

員体制」〔単著〕(『岩波講座 東アジア近現代通史 第6巻 アジア太平洋戦争と「大東亜共栄圏」1935-1945年』岩波書店, 2011年1月) 47-72頁 4) 「中華民国の憲政と独裁」〔久保亨・嵯峨隆共著〕(久保亨・嵯峨隆編著『中華民国の憲政と独裁 1912-1949』慶應義塾大学出版会, 2011年9月) 1-13頁 5) 「同時代日本の中華民国認識—矢野仁一の中国論を中心に」〔単著〕(久保亨・嵯峨隆編著『中華民国の憲政と独裁 1912-1949』慶應義塾大学出版会, 2011年9月) 215-236頁 6) 「戦後中国の経済自由主義」〔単著〕(村田雄二郎編『リベラリズムの中国』有志舎, 2011年9月) 307-327頁 7) 「1950年代の中国綿業と在華紡技術」〔単著〕(富澤芳亜・久保亨・萩原充編『近代中国を生きた日系企業』大阪大学出版会, 2011年12月) 93-115頁 ⑤1) 'Chinese policies on textile industries in the 1950s and 1960s'〔単独〕, "ENIUGH" Congress 2011 (ENIUGH = European Network in Universal and Global History), 2011年4月14-17日, [ロンドン] ロンドン大学 LSE 2) 「同時代日本学者対中華民国の認識」〔単独〕, “民国期人物再研究で再評価” 国際シンポジウム, 2011年9月10-11日, [上海] 復旦大学主催 3) 「戦後日本の歴史学と野沢豊の中華民国史研究」〔単独〕, “辛亥革命100周年” 国際シンポジウム, 2011年10月13-15日, [武漢] 中国社会科学院近代史研究所・華中師範大学他共催 4) 「同時代日本の中華民国認識」〔単独〕, “辛亥革命100周年” 国際シンポジウム, 2011年11月19-20日, [東京] 華人教授会主催

笹本正治 ①1) 『武田勝頼—日本にかくれなき弓取り—』(ミネルヴァ書房, 301頁)〔単著〕 2) 『信濃戦国時代武将列伝』(信濃毎日新聞・信毎販売店会, 7頁分)〔共著〕 3) 『歴史の中の遊女・被差別民』(『別冊歴史読本 歴史の中の遊女・被差別民』の文庫化, 新人物文庫化, 22頁分)〔共著〕 4) 『武田・上杉・真田氏の合戦』(宮帯出版社, 239頁)〔単著〕 5) 『『戦国』バトル読本【合戦編】』(講談社, 20頁分)〔共著〕 6) 『中井均・笹本正治講演集 高遠城の攻防と一夜の城～織田軍の陣城について考える～』(ほおずき書籍, 41頁分)〔共著〕 ②「日本山岳文化総論」(『東亜細亜山岳文化研究の地平を拓く』25-46頁, 韓国慶尚大学校 慶南文化研究院) ④1) 「人文科学から見た日韓両国の山岳研究」(『山岳科学総合研究所ニュースレター』第25号) 2) 「武田勝頼 駄目息子ではなかった」(『信濃毎日新聞』3月8日朝刊) 3) 「発刊によせて」(『飯山の祭り』, 飯山市) 4) 「あとがき」(『名称光前寺庭園保存管理計画書』, 駒ヶ根市教育委員会) 5) 「勝頼, 文化人としての素顔」(『山梨日日新聞』4月13日) 6) 「秋山敬さんを悼む—故郷に根ざした歴史研究—」(『山梨日日新聞』5月26日) 7) 「書評『歴史と民俗27』特集 歴史学と民俗学」(『神奈川大学評論』, 神奈川大学) 8) 「蚕糸業のシンボル信州大学繊維学部講堂」(『文化庁月報』平成23年9月号) ⑤1) 「小菅の柱松行事から見えてくること」及びコーディネーター(3月27日, シンポジウム「小菅の柱松行事から見えてくること」, 飯山市公民館講堂・飯山市教育委員会)〔単独〕 2) 「日本山岳文化総論」(5月18日, シンポジウム『東亜細亜山岳文化研究の地平を拓く』, 大韓民国慶尚大学校 慶南文化研究院)〔単独〕 3) 「伝承から防災を考える—一足下の防災を見つめ直す—」(10月28日, 琉球大学島嶼防災研究センター・国際沖縄研究所フォーラム「伝承から防災を考える」)〔単独〕 4) 「遺跡資料リポジトリのこれから—永続への課題—」(11月26日, 全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップ in 東京「文化遺産の記録をすべての人々へ! —遺跡資料

リポジトリの自立的な展開をめざして一], 国立情報学研究所 CSI 委託事業 (領域2) 全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト・国立情報学研究所12階会議室) [単独] ⑥1) 『思い起こす三六災害』全127頁の編集委員 (社団法人 中部建設教会) [単独] 2) 信越放送「川中島合戦の真実」(1月18日, 信越放送ラジオ, 16時~16時30分) [単独] 3) 「平成22年度信州大学放送公開講座 常識は本当に常識なの? ~川中島合戦から歴史を考える~」(1月22日, SBC 信越放送テレビ, 15時30分~16時) [単独] 4) 「山と日本人 一関山と小菅の柱松一」(9月11日, 妙高市大字関山 関山農民研修センター・妙高 (関山) の文化財を語る会, 妙高テレビ, 及び信州大学チャンネルで放送) [単独] 5) 歴史夜話ヒストリア「真田一族」出演 (9月14日夜10時, NHK) 6) 「みつめて! 信州生テレビ」出演 (9月24日午後5時30分~6時, 長野朝日放送) 7) 「川中島合戦と情報」(2月10日, 関東甲信越実践セミナー情報の部・メルパルク長野・信州大学総合情報センター) [単独] 8) 「上田の歴史を語る一真田氏三代を中心に一」(2月21日, 上田商工会議所議員研修会・上田商工会議所) [単独] 9) 「柱松神事と私そして祭の未来」(3月27日, 小菅農業生活改善センター・小菅区・飯山市教育委員会) [単独] 10) 「山寺廃寺跡の重要性をめぐって」(6月4日, 大町市文化会館サン・アルプス大町・大町市教育委員会) [単独] 11) 「小岩嶽城落城と安曇野一戦国時代の背景を考える一」(8月21日, 安曇野市穂高学習センターみらい・安曇野市中央図書館) [単独] 12) 「桐原城と山辺の歴史遺産」(8月27日, 入山辺公民館大会議室・松本市教育委員会) [単独] 13) 「川中島合戦の真実一川中島合戦から450年一」(9月9日, 信州大学全学教育機構・第4回「みこも会」) [単独] 14) 「伝承から防災を考える」(9月26日, 長野西高等学校図書室・長野西高等学校) [単独] 15) 「水で結ばれたふるさと一『安曇野風土記』をつくる一」(10月13日, 豊科交流学習センター「きぼう」多目的ホール・安曇野市企画財政部まちづくり推進課) [単独] 16) 「川中島合戦の真実一川中島合戦から450年一」(11月8日, 長野国際ホテル21・八十二文化財団・八十二銀行長野南支店みなみ会) [単独] 17) 「村上義清をめぐって」(11月19日, 新潟県糸魚川市おててこ会館文化講演会・糸魚川市教育委員会) [単独] 18) 「文化遺産の記録をすべての人々へ! 一遺跡資料リポジトリの自立的な展開をめざして一」コーディネーター (12月17日, 全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップ in 福岡, 国立情報学研究所 CSI 委託事業 (領域2) 全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト・九州大学図書館視聴覚ホール) [単独]

柴野 均 ①「イタリアの統一」『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』[共著] ミネルヴァ書房 pp. 138-145. ③A・カパッティ/M・モンタナリ『食のイタリア文化史』岩波書店 N・ファレル『ムッソリーニ』白水社 ⑥「信州とイタリア」安曇野市民大学 穂高会館10月12日

山本英二 ①1) 「慶安御触書は存在したのか」(村岡薫他編『再検証 史料が語る新事実 書き換えられる日本史』小径社, pp. 204-210) [共著] ④報告要旨「近世初期貨幣の使用実態一三河国設楽郡粟代村年貢史料を事例に一」(『静岡県地域史研究会会報』第178号, pp. 2) [単著] ⑤1) 静岡県地域史研究会例会報告「近世初期貨幣の使用実態一三河国設楽郡粟代村年貢史料を事例に一」(磐田市・ワークピア磐田, 6月25日) [単独] 2) 第67回「書物出版と社会変容」研究会・松本例会報告「松本藩崇教館と多湖文庫」(松本

- 市・あがたの森文化会館, 10月1日) [単独] 3) 貨幣博物館セミナー報告「江戸時代の貨幣が語る東と西—三河国の年貢史料を事例に—」(東京都中央区・日本銀行金融研究所貨幣博物館, 10月31日) [単独] ⑥1) 講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代—家康・秀忠・家光—」(名古屋市・栄中日文化センター, 1月21日, 2月18日, 3月18日) [単独] 2) 真田宝物館テーマ展示「お殿様の健康志向」記念講演「お殿様の湯治」(長野市・サンホールマツシロ, 3月5日) [単独] 3) 第31回志賀高原夏期大学講座「高校教科書で学ぶ日本史」(長野県下高井郡山ノ内町・山ノ内文化センター, 7月28日) [単独] 4) 講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代—家綱・綱吉・家宣・家継—」(名古屋市・栄中日文化センター, 10月21日, 11月18日, 12月16日) [単独] 5) 愛知大学文学部春学期非常勤講師「古文書読解」 6) 日本古文書学会編集委員 7) 徳川林政史研究所特任研究員 8) 関東近世史研究会評議員
- 大串潤児 ①1) 君島和彦編『歴史教育から「社会科」へ—現場からの問い』東京堂出版, 2011年3月, 編集委員および「はじめに」(1-12頁)執筆, [共著] ②1) 「教育のなかの「満蒙開拓青少年義勇軍」—シンポジウムのまとめにかえて」長野県歴史教育者協議会編『満蒙開拓青少年義勇軍』シンポジウム 記録集』同, 2011年1月, 54-64頁, [単著] 2) 「歴史教育と戦後地域青年の精神史—短歌・俳句・川柳を読み解く試み(1)」『歴史教育長野 年報』25, 2011年5月, 63-69頁, [単著] 3) 「史学史としての教科書裁判」『思想』第1048号, 2011年8月, 141-163頁, [単著] 4) 「映画「ひとりの母の記録」と山吹村」『第9回 飯田市地域史研究集会 報告集』飯田市歴史研究所, 2011年8月, 34~40頁, [単著] 5) 「戦争とモダニズム」『歴博』[国立歴史民俗博物館] No.169, 2011年11月20日, 7-11頁, [単著] ⑤1) 「映画「ひとりの母の記録」と山吹村」飯田市歴史研究所第9回地域史研究集会「戦後復興から高度成長へ—飯田・下伊那の経験」2011年8月27-28日, 於・飯田市飯田信用金庫大会議室, [単独] 2) 「地域教材・地域史学習と近現代史研究の現在」神奈川県高等学校強化研究会社会科部会歴史分科会, 2011年11月2日, 於・神奈川県立柏陽高等学校, [単独] ⑥「小さなサークルの記録」『歴史学と現代』第30号 [卒業生版], 同編集委員会 [東京学芸大学日本近現代史ゼミ], 2011年3月, 121-125頁, [単著]
- 佐藤全敏 ⑤「宇多天皇の文体 (スタイル)」(人間文化研究機構・国際日本文化研究センター, 2月19日, 同センター)